

郵便はがき



〒四二六-〇〇二五
 藤枝市藤枝四一七
 大慶寺 大場正昭

FaxTel 〇五四一六四一-二二二九
 〇五四一六四四-六二二六

ohba@ennyozan.org

お施餓鬼会

8月8日

せがきえ
 年一回、先祖の霊、万物の霊に供養し
 感謝する法要です。ご参列お焼香をお願
 い致します。

記

●日時 8月8日(水曜日)

午後1時 法話

午後2時 お施餓鬼法要

付施餓鬼 塔婆供養

●塔婆供養申し込みは8月7日までです。

・付施餓鬼塔婆代は1本 2千円

・初盆塔婆代は3千円

(申し込み例)

〇〇家先祖代々の霊 〇〇信士之霊 等

電話、FAX、Eメールで受け付けます。

■8月盆経時間の確認を

7月上旬に発送した「お施餓鬼案内」に
 8月盆経の日時予定を同封致しました。
 今一度ご確認をお願いします。変更希望
 の場合は寺までご連絡下さい。可能な限
 り調整致します。

何が起こってもおかしくない。本当にそう思う。

7月末、法話箋8月号の原稿を書き終え、印刷に出し終えた時に、台風がやってきた。

その原稿は、「大阪の地震、滋賀の竜巻、そして西日本豪雨。静岡では大きな災害もな

く、穏やかな生活を送っているが、いっどこで何が起こって

もおかしくないというのが仏さまの教え。私たちは心のど

こかで、災害はいっ起こってもおかしくないという自覚を持た

なければならぬ。自覚から更に、何が起こっても耐えら

れる心の準備や修養が求められる。」というような内容だ。

28日未明に台風12号が通過し、恐れていたことが起こった。久遠の松が被害を受けたのだ。(写真参照)

前回の久遠の松の被害は、平成17年の8月25日。それ以来の久しぶりの被害である。

28日の夜の10時頃、風雨がかなり強くなってきたが、台風は速度も速いし、一気に通り



過ぎるだろうとたかを括っていた。29日の朝。「大変だ」の声で玄関を出てみると大きな枝が折れていた。本堂側の枝で、直径50cm以上、長さは8m以上である。

当日は日曜日。法事もある。松葉も境内中に広がっている。

直ぐに総代さんに連絡。連絡がついた総代さんや総代さんの息子さん

が手伝いに来てくれた。松の生木は、脂分を含んでいるので、素人のこの

ぎりでは歯が立たない。檀家さんで木こりの仕事をする人に連絡。直ぐ

に来てくれ、手順良く、あつという間に松の枝を細かく切断して

くれた。

折れた枝は、これから炎天下で乾かし、お盆用の松明として、お施餓鬼会の際に、

檀家さん希望者に配る予定。久遠の松の迎え火でご先祖をお迎えしよう。ということ

ことで、今回は本文を急遽差し替え。